

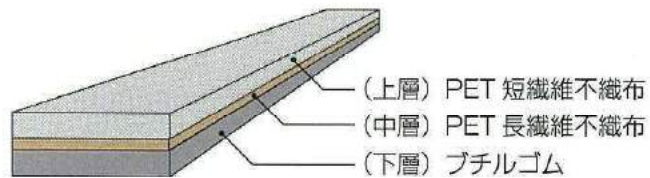
# 緑化 目地シート

# 10年以上の耐久実績のある強壮雑草用防草シート（緑化マルチフェルト Ver.5）を基材とした目地箇所用の防草シート。 加熱工程を必要としない、自着能力抜群の粘着テープ。

## 特長



- 緑化マルチフェルト Ver.5（防草シート）の特性を活かした目地用防草シート。  
\*緑化マルチフェルト Ver.5 はチガヤ等の強雑草対応の防草シートです。
- 市場の多くは、加熱をし、接着作業を行う製品ですが、本製品は火気を使用しない自着ゴムを採用していますので、安全な施工が可能です。
- 本製品自体に自着能力を有していますので、施工の安定性も期待できます。
- 本製品の接着は、ゴムを採用しています。ゴムの特性は連続的に粘着性を有しているため、高い追従性を可能にしました。
- NETIS（国交省新規技術登録）「CB-120027-A」



## 施工事例

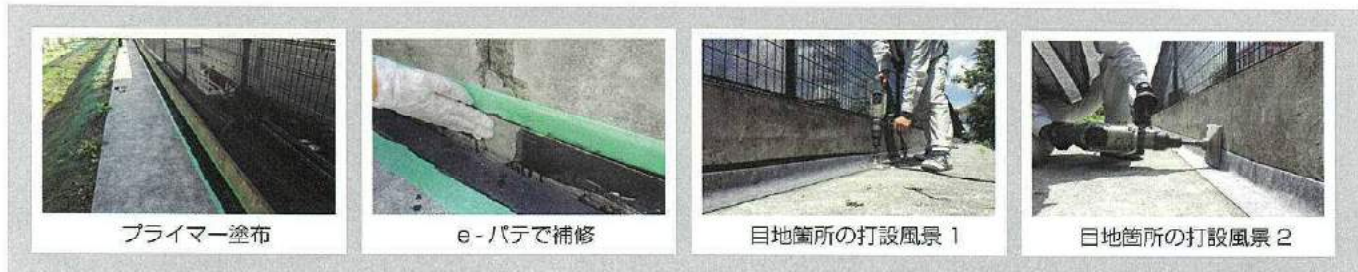


## 規格及び付属品

品番	サイズ	商品名	規格	備考
#10	10cm×10m 新設平面専用	ストッププライマー	15kg 缶	標準タイプ
		ストップボンド		高粘度タイプ
#15	15cm×10m 平面・L字箇所	ポリゾール AP609	18kg 缶	透明 低粘度タイプ
		e-パテ（基材+硬化剤）	500g/セット	目地補充材



## 施工風景



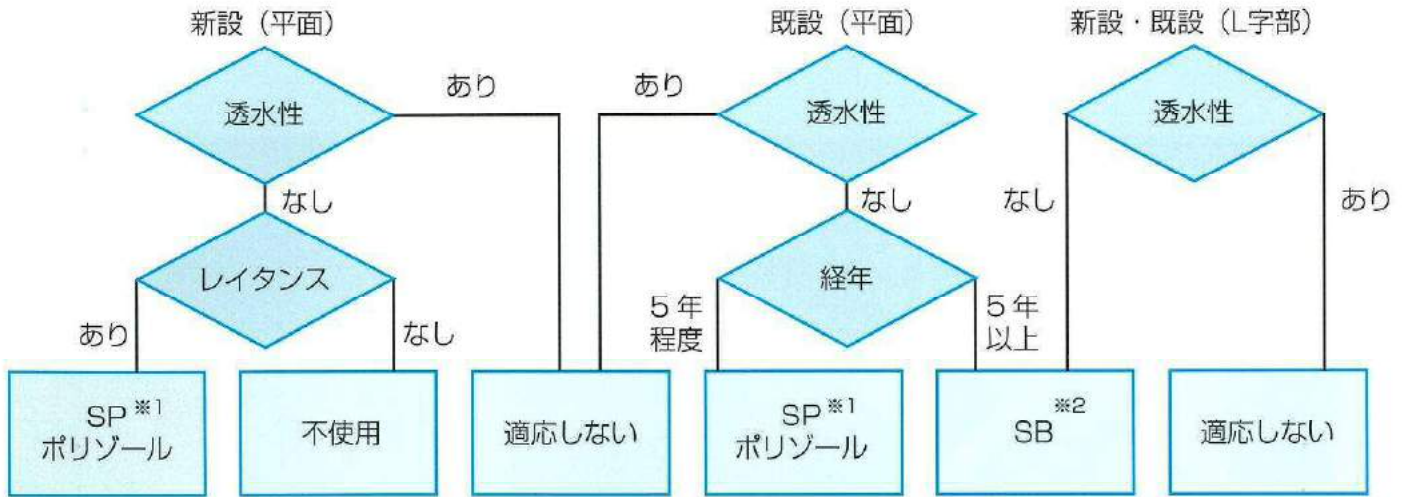
## 工法による比較

名称	工法 A	工法 B	緑化マルチフェルト目地
特長	改質アスファルトを使用し、バーナー等で融解したものを張り付ける。 本体には防草シート（機能）を有したものがある。	本体を高温で加熱し、注入するタイプ。 テープ式ではなく、液剤を隙間に流し込む。	強雑草用の防草シートにブチルゴムを張り付けた製品。 本体にブチルゴムを張り付け、施工は均一。そのためバーナー等での加熱は必要ない。
課題	火気の取り扱いを注意する必要がある。 本体を融解する際に、一定の技術が必要とされる（炙りウラ）。	天端タイプではない為、本体と路面の間に隙間が生じ、雑草発生箇所となる。 本体自体に防草効果は無い。	路面凍結や低温時はブチルゴム自体が硬くなるため、施工時期は限られる。
施工性（熟練度）	本体を融解し、接着能力を最大限にする必要がある。 本体の融解作業を一定にする必要があり、ある程度の熟練度が必要となる。	天端に処理を施さないため、亀裂の隙間に十分な注入をしなくてはならない。 振動や霜等によるスレを考慮しなければならない。	本体にブチルゴムが一体化されているため、転圧（張付け）作業のみ。

### <施工の留意点>

- 前処理の清掃は、本体張り付け面の汚れを充分取り除いてからの施工を行ってください。路面に汚れが残っている場合、本製品と路面との張り付けが充分にできません。
- 降雨時の施工は、ブチルゴムと接着面の張り付けが充分にできません。降雨時を避け、また路面が濡れている条件での施工はお控えください。
- ブチルゴムの特性上、低温時での作業は極力避けてください。概ね 15℃を下回った場合での施工では、本体を温めるなどの処理を施してから施工を行ってください。

## 工法選定フローチャート



※1：ストッププライマー ※2：ストップボンドの略

## 参考歩掛り

現場・施工状況		備 考	
・施工現場は、延長 100m あたり ・下地処理（草刈り・不陸整正など）済み		・諸雑費は含みません。	
施工人工	プライマー処理なし	プライマー・ポリゾール処理	ストップボンド処理
土木一般世話役	0.2人	0.2人	0.2人
普通作業員	0.8人	1.06人	1.06人
プライマー使用料目安	-	13.5kg	25kg

※一般的な現場の目安となります。条件により人工、使用数量の増加もございます。

## e - パテの推奨



### 現状

クラック箇所にコンクリート（簡易アスファルト）を詰める作業が一般的だが、詰物と路面が一体化されずに詰物の下部から雑草が生えやすい。



### 提案

エポキシ材を使用し、目地部を詰めることで、路面とシートが密接に接着し、隙間ができにくく、雑草抑制を持続的に行う。

## 商品の取り扱いについて



- ※商品については説明書をよく読んでからご使用下さい。
- ※記載内容は、本資料作成時点での情報・データ他に基づいて作成しています。
- ※記載のデータ等は、保証値ではありません。カタログ標記は参考値として、品質証明書の数値と若干異なる事もございます。
- ※製造ロットにより、風合いや色味が若干異なる場合もありますが、物性値等への影響はありません。
- ※本来の用途以外ではご使用にならないで下さい。
- ※施工に関しては、関係法規・条例他を遵守してご使用下さい。

※使用上、不明な点は弊社までお問い合わせ下さい。 ※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

**小泉製麻株式会社 国土環境事業部**

<http://www.koizumiseima.co.jp/>

本 社 神戸市灘区新在家南町1丁目2番1号  
 電話:078-841-9347 FAX:078-841-9349  
 東京支店 東京都新宿区市谷砂土原町2丁目7番15号  
 TEL:03-5227-5325 FAX:03-5227-5328